緑地管理用除草剤 **草取り名人®W**

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	アミカルバゾンを含む農薬の総使用回数	ブロマシルを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 鉄道等	一年生雑草	雑草発生前	10～20g/㎡	2回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	2回以内	2回以内
		一年生雑草及び多年生広葉雑草	雑草生育初期	20～30g/㎡				

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤の散布適期は雑草生育初期（草丈20cm以下）であり、生育の進んだ雑草には効果が劣るので、時期を失しないように散布してください。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が植栽地に流入または飛散するおそれがある場所等では使用しないでください。
- 本剤が植物の根から吸収されると薬害が発生するので、水田や水田への利用が考えられる用水路等に本剤の流入が想定される場所や、農作物および有用植物の付近では使用しないでください。
- 本剤が流出するような激しい降雨が予想される場合は散布を行わないでください。
- 傾斜地や砂質土壌では、本剤の流出による薬害のおそれがあるので使用しないでください。
- 本剤を散布した場所やその付近では、植物の植付けは行わないでください。
- ハウス等の施設の周辺では使用しないでください。
- 土壌が乾燥しているときは効果が劣る場合があるので、適度の湿り気のあるときに均一に散布してください。
- 水源池、飲料水、灌漑用井戸、養殖池等に本剤の飛散や流入及び浸透が想定される場所では散布を行わないでください。
- 散布器具、容器はよく洗浄し、洗浄廃液は直接河川や用水路に流れ込まないように十分注意し、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。

保管 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手の届かない冷涼・乾燥した所。

● ラベルをよく読む。 ● 記載以外には使用しない。 ● 小児の手の届く所には置かない。

■ 販売

MBC 丸和バイオケミカル株式会社

■本　社／〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
札幌 ／ 仙台 ／ 東京 ／ 名古屋 ／ 大阪 ／ 福岡
https://www.mbc-g.co.jp
お問い合わせ窓口／TEL 03-5962-9731（9時～17時 土日祝を除く）

1271S

農林水産省登録　第23892号

緑地管理用除草剤

草取り名人®W

草取り名人®は丸和バイオケミカルの登録商標です。

アミカルバゾン …… 0.50%
ブロマシル …… 0.50%

臭いの少ない粒剤登場!

包装 ●2kg×10 ●5kg×4

MBC 丸和バイオケミカル株式会社

特長

- **雑草発生前～雑草生育初期**まで効果を有する除草剤です。
- 雑草を**枯らした後**も、雑草の**発生を抑制**します。
- 比重が重く、**風に飛ばされにくい**製剤です。
- 比較的**臭いも少なく**、散布する方の負担の少ない粒剤です。
- 手でも、粒剤散布器でも**散布しやすい**粒剤です。

実物写真

ヒメジョオン

スギナ

効果のある雑草

使用時期(雑草)		雑草発生前	雑草生育初期
使用時期(月)		3月中旬～4月下旬	4月上旬～6月上旬
調査日(散布後日数)		39～70日後	26～53日後
イヌムギ	イネ科	●	●
エノコログサ	イネ科	●	
オヒシバ	イネ科	●	
コブナグサ	イネ科		●
スズメノカタビラ	イネ科	●	●
スズメノテッポウ	イネ科	●	
ナギナタガヤ	イネ科		●
ニワホコリ	イネ科		●
メヒシバ	イネ科	●	◎～●
イヌビユ	ヒユ科	●	
コアカザ	ヒユ科	●	
カラスノエンドウ	マメ科		●
コメツブツメクサ	マメ科		●
シロツメクサ※	マメ科		●
ヤハズソウ	マメ科	●	●
ジシバリ※	キク科		●
ノゲシ	キク科	●	
ハキダメギク	キク科	●	●
ハルジオン	キク科		●

使用時期(雑草)		雑草発生前	雑草生育初期
使用時期(月)		3月中旬～4月下旬	4月上旬～6月上旬
調査日(散布後日数)		39～70日後	26～53日後
ヒメジョオン	キク科	●	●
ヨモギ※	キク科		●
アメリカフウロ	フウロソウ科		●
ヒメオドリコソウ	シソ科		●
ホトケノザ	シソ科	●	●
エノキグサ	トウダイグサ科	●	●
オオニシキソウ	トウダイグサ科	●	
スギナ※	トクサ科	●	○～●
オランダミミナグサ	ナデシコ科	●	
ハコベ	ナデシコ科	●	
ツユクサ	ツユクサ科	●	
メマツヨイグサ	アカバナ科	●	
オオバコ※	オオバコ科		△～●
タチイヌノフグリ	オオバコ科		●
ヘビイチゴ※	バラ科		●
スミレ※	スミレ科		◎～●
カタバミ※	カタバミ科		◎～●
キツネノマゴ	キツネノマゴ科	●	
オオチドメ※	ウコギ科		△

■ 草取り名人W 20g/㎡の効果(登録薬量は雑草発生前は10～20g/㎡、雑草生育初期は20～30g/㎡) ■ (公財)日本植物調節剤研究協会 委託試験結果より集計 ■ 効果：● 極大、◎ 大、○ 中、△ 小、× 効果なし ※多年生雑草

試験事例 ❶ 雑草発生前の散布(鉄道敷)

試験場所
山形県(社内試験)

草取り名人W 20g/㎡

散布日 2017年 6月13日
(茎葉処理剤を6月5日に散布、抑制期間の確認)

キンエノコロ

メヒシバ

92日後

調査日 2017年 9月13日

無処理区 2017年 9月13日
(6月5日に茎葉処理剤を散布したが、その後キンエノコロ、メヒシバ等が発生した。)

90日以上の雑草発生抑制効果が確認されました(キンエノコロ、メヒシバ 等)

試験事例 ❷ 雑草生育初期の散布(空き地)

試験場所
神奈川県(社内試験)

草取り名人W 20g/㎡ | 草取り名人W 30g/㎡

散布日 2017年 6月15日

74日後

調査日 2017年 8月28日

雑草生育初期(6月散布)で高い効果が確認されました(キンエノコロ、ヒメジョオン 等)

試験事例 ❸ 雑草生育初期の散布(ソーラーパネル敷地)

試験場所
千葉県(社内試験)

草取り名人W 20g/㎡ | 草取り名人W 30g/㎡

散布日 2017年 7月4日

57日後

調査日 2017年 8月30日

雑草生育初期(7月散布)でも高い効果が確認されました(セイタカアワダチソウ、ママツヨイグサ 等)